

糖尿病医療チーム

生活習慣病の“代表選手”である糖尿病は、その病態の特徴から日常の診療にチーム医療が不可欠です。医師・看護師による患者サポートはもちろん、患者個人に合わせた食事療法（管理栄養士）、運動療法（理学療法士）、薬物療法（薬剤師）だけでなく、血糖自己測定や合併症管理を目指した臨床検査（臨床検査技師）や網膜症・歯周病に対する理解促進と定期受診（視能訓練士、歯科衛生士）と多様な支援が必要になるのです。そのため当院の糖尿病医療チームではこれら職種の専門力を結集した包括的な糖尿病治療を実践しています。

本チームには、日本または兵庫県糖尿病療養指導士（CDEJ、HCDE）の資格を取得した療養指導の専門家が多数在籍しており、腎症重症化予防やフットケア、悪性疾患や感染症対策、さらには認知症やサルコペニア・フレイル、歯周病や嚥下障害など新たな臨床課題に柔軟に対応しています。また、特に高齢者などでのポリファーマシー問題にも病院として取り組んでおり、患者様をご紹介いただきました地域の先生方にもご協力とご理解をお願いすることがあります。こうして、私どもでは単に血糖管理に留まらない多方面からの患者ケアと地域の病診・病病連携をますます強力に推進してまいりたいと考えています。

ますます高齢化していく糖尿病患者さんの多様な医療ニーズに真摯にお応えしていくためにも、また、地域の先生方からのさまざまなご要望に沿いながら、日頃の私どもの診療内容を地域医療のさらなる発展へとつなげていくためにも、私どもではこれからも日々努力してまいりたいと思います。今後とも当病院、当チームに一層のご支援、ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。